



2015年
12.18(金)
【会場】松江歴史館

講演会1
「天愚孔平と月照寺大龜の石の謎」
《講師》宍道正年（松江歴史館専門官）
2015年12月23日（水・祝）14:00～15:30
※講演会1,2共に要申込、聴講無料、定員60名程度

講演会2
「江戸に知らぬ者なし」といわれた
天下の奇人 天愚孔平
《講師》土屋侯保氏（大正大学客員教授・前大和市長）
2016年1月10日（日）10:30～12:00

《展示解説》
①2015年12月18日（金）オープニングセレモニー（9:00）後
②2016年1月11日（月・祝）、1月24日（日）各日共 14:00～14:40
《解説者》当館学芸員 西島太郎 ※特別展観覧券が必要

開館時間
8:30～17:00（観覧受付は16:30まで）

観覧料
大人 500円 小・中学生 250円
★団体料金（20名以上）
大人 400円 小・中学生 200円

休館日 1月21日（木）
※初日の特別展観覧は9時10分から



ほっと一息 お城のとなり 癒しの空間
松江歴史館
〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
TEL.0852-32-1607 FAX.0852-32-1611
<http://www.matsu-reki.jp/>
facebook [twitter] で最新情報を配信中！

平成27年度
特別展

千社札の元祖

江戸のグラフィックデザイン

天愚孔平



天愚孔平のサイン

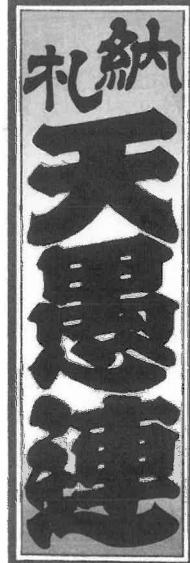
晴れているのに雨合羽を着て、歳は常に百歳といい、風呂にも入らず、
使い古しの草履を集め、自らを孔子と平家の子孫だと言う奇人・天愚孔平は、
江戸で知らぬ者はいませんでした。

松江藩松平家6代藩主の宗衍と7代藩主治郷（不昧）2代の側近くに仕えた江戸詰の藩士で、
本名は萩野信敏（1733～1817）、博覧強記にして江戸随一の知識人でした。

松江の藩主菩提寺・月照寺にある松平宗衍寿藏碑（月照寺の大亀）碑文の撰文や、
大槻玄沢の書いた蘭学入門書『蘭学階梯』の序文などを執筆しました。

神社仏閣の堂塔に自らの名を書いた札を貼る「千社札」の元祖としても有名です。

天愚孔平の全容をうかがう初の展示となります。



奇人・天愚孔平をめぐる謎——はじめに

第1章 松江藩医・萩野家——殿様の側医父の春庵と子の喜内（孔平）

第2章 親しき殿様たち——六代宗衍・七代治郷（不昧）の寵愛を受ける

第3章 求められた才能——江戸の知識人・天愚孔平の交遊

第4章 千社札の元祖 天愚孔平——千社参りの札貼りを広める

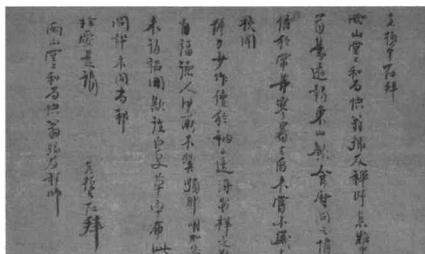
江戸の文化を先導した松江藩士——おわりに



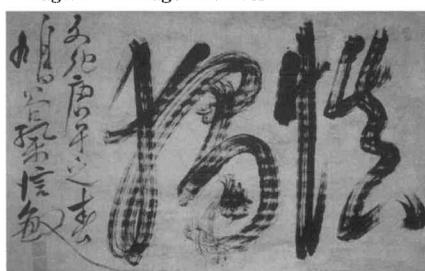
神社仏閣に貼られた千社札



天愚孔平が書いた碑文を刻む
月照寺の大亀



天愚が仕えた松江藩主 松平不昧収集の宝物
重要文化財 虚堂禪師墨跡【東京国立博物館蔵】
Image: TNM Image Archives



「一人の時でも、道を誤らないでいる事が出来るか」
天愚孔平筆「慎独」【松江歴史館蔵】



江戸時代100人の奇人を載せる
「百家琦行伝」。天愚は3番目に登場
【松江歴史館蔵】



天愚孔平の千社札（大札）
【吳市立美術館蔵】



千社札を貼る道具 振り出し竿【千代田区教育委員会蔵】

松江
ホーランエンヤ
伝承館

無料観覧できます!

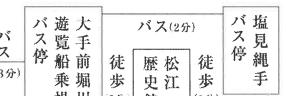
当館有料展示観覧の方は、隣接する「松江ホーランエンヤ伝承館」を無料でご覧いただけます。



展示室以外の施設は入場無料ですのでお気軽にお越しください。

■市内交通バス

○ぐるっと松江レイクライ



■有料駐車場

- JR松江城大手前駐車場
徒歩 3分
P 一畠立体駐車場
徒歩 4分
P 島根県民会館有料駐車場
徒歩 5分
P 城山西駐車場
徒歩 13分

■おもてなし駐車場（無料）

- ※上日祝のみ利用可能
※各種行事の際はご利用いただけない場合があります
P 島根県庁駐車場
徒歩 5分
P 松江商工會議所駐車場
徒歩 3分
●当館敷地内に障がい者専用駐車場あり

ほっと一息 お城のとなり 瘴しの空間

松江歴史館

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
TEL0852-32-1607/FAX0852-32-1611

開館時間／4月～9月(8:30～18:30) 10月～3月(8:30～17:00)
休館日／毎月第3木曜日（祝日の場合は翌日）